

連携

国内外の産学官の連携により、 諸学の知を融合した「デザイン学」が誕生します。

「デザイン」の対象は、社会のシステムやアーキテクチャに広がっております。
世界規模で進行するエネルギー、災害などの諸問題を分析し、
社会の発展に向けた総合的処方箋を「デザイン」できる人材の養成は喫緊の課題です。
本プログラムでは、京都大学の4つの研究科、専門職大学院を中心に、
国内外の大学や産業界、行政機関との密接な連携を実現します。
情報学を介して諸学を繋ぎ、専門家間の共通言語としての「デザイン学」を確立することによって、
社会のブレークスルーを生み出していきます。

学内連携による 広領域のデザイン科目群の開講

- 京都大学
情報学研究科(情報学領域)
工学研究科機械系専攻群(機械工学領域、建築学専攻(建築学領域))
教育学研究科教育科学専攻(心理学領域)
経営管理大学院(経営学領域)

学内連携



国際連携 国際連携による 海外・フィールド インターンシップ の実施

- 日英産学連携スキーム(RENKEI)
ブリストル大学
ロンドン大学 ほか
- デザインスクール間の連携
スタンフォード大学
ハーバード大学
アールト大学 ほか
- 交流大学多数

芸術学

大学間連携 大学間連携による 教育の高度化

- 京都市立芸術大学
美術研究科(芸術学領域)

産学連携 産学官連携による 実問題の演習と 博士研究の実施

- 学外プログラム担当者
日本電信電話株式会社
三菱電機株式会社
パナソニック株式会社
日本電気株式会社
株式会社野村総合研究所
独立行政法人情報処理推進機構
京都市
総務省
- 京都市リサーチパーク株式会社(拠点運営)
- デザインイノベーションコンソーシアム
(地域を含む多数の企業群)

社会のシステムやアーキテクチャの デザインを目指して

プログラムコーディネータ
石田 亨 情報学研究科 教授

東日本大震災を経験した私たちは、異なる分野の専門家が協力して社会のシステムやアーキテクチャをデザインすることの重要性を痛感しています。そこで、リーディングプログラム「デザイン学」では、Cyber(情報学など)とPhysical(工学など)の専門家が、経営学、心理学、芸術系の専門家と協働し問題解決が行えるよう、これまでにない新しい教育研究を展開します。
また、産学により運営されるデザインイノベーション拠点では、世の中の実問題に取り組む活動を常時社会に開放します。このように、リーディングプログラムを対外的にオープンにした活動を「京都大学デザインスクール」と呼び、社会と共に教育研究を行う姿勢を広く世界に伝えます。大学院生や社会人の首領を、異分野が融合するデザイン学にご招待します。共に新たな領域を開拓していきましょう。

豊田中央研究所 代表取締役
瀧本 正民 様



環境・エネルギー問題で代表される如く、我々の住む社会・地球は大きな転換期を迎えておりますが、こういう複雑な問題を解決するには、一つの専門分野を極めるだけでなく、幅広い視野・知識と行動力のある研究者が強く求められています。本プログラムは、実社会の大きな課題解決のためのイノベーション創出を担う研究者への第一歩だと思っておりますので、大いに期待しております。

森ビル株式会社
取締役副社長執行役員



都市は極めて多様な要素が複雑に絡み合っており、上手く絡み合っていれば良い都市になりますし、逆になれば最悪になります。「六本木ヒルズ」のような都市開発はそれを上手にデザインする事が求められています。夢を持ってそのような力を持つ人材に育てて欲しいと思います。

京都大学デザイン学大学院連携プログラム開設に寄せて

日本電信電話株式会社
NTTコミュニケーション
科学基礎研究所 所長

上田 修功 様



NTTでは安心・安全で心が豊かになる情報通信社会の実現を目指し、日々挑戦しています。この挑戦には、新たな価値を創造し、サービスとして社会に役立てるデザイン力が欠かせません。デザイン学を学んだ若手人材の今後の活躍に大いに期待しております。

パナソニック株式会社
R&D本部 先端技術研究所
理事・技監

丸野 進 様



パナソニックでは、新規事業領域の開拓や新たな発想に基づく新商品の開発に全社をあげ取り組んでいます。本リーディングプログラムが育成しようとしている十字型人材、即ち、実務実践能力が極めて高く、異分野融合でグローバルに活躍可能なデザイン型人材に大いに期待しております。

野村総合研究所 理事
柴原 哲雄 様



大きな社会・産業構造の変化が起きている現在、課題も複雑・複雑化し、その焦点がますます不透明になってきています。これからの時代に求められる人材は超戦略的視点に立った分析力、発見力に優れた人材で、そうした要求に応えられる人材こそが正に、デザイン学博士なのだと思っています。

三菱電機株式会社 役員理事
先端技術総合研究所 所長

田中 健一 様



世の中に無い新しいものを作るためには、システム全体、およびそれを取り巻く社会的環境を含めた基本デザインが非常に重要です。本学デザインスクールでは、そのような素養を、企業や世界の著名大学とのグローバルな連携を含む実践を通して学ぶことができるため、将来の就職や企業での活躍に際しても、非常に役立つ教育を授けられるものと期待しています。

実習・研究はデザインイノベーション拠点で!

京都リサーチパーク内に、デザインイノベーション拠点を設置。大学院生はもとより、産学官の人材が集い、交流する場としてフューチャーセンターを整備していきます。

京都リサーチパーク
新産業創出拠点・産学公連携拠点の実現を目指し、1989年にオープンした全国初の民間運営リサーチパーク。IT系企業など約250社が集積。



幅広い知識を培う体系的な科目設計と
問題発見・解決能力と俯瞰力を育てるプログラム

俯瞰力を高める体系的な科目設計

情報学、機械工学、建築学、経営学、心理学を融合したデザイン学共通科目と、各専門ごとのデザイン学領域科目からなる体系的なカリキュラムが提供されます。デザイン学共通科目では、異なる領域の研究手法を学ぶ「横断型講義」と、複数の領域の教員が同時に指導する「協奏型講義」により、幅広い視点と柔軟な発想力を培っていきます。

横断型講義 (例) 異分野の蓄積を体系化する



協奏型講義 (例) 異分野の教員が同時に教壇に立つ



「現場の教育力」を活用する
フィールドインターンシップ

豊かな交流と多様な体験の機会となる「海外インターンシップ」、さまざまな専門領域の学生がチームを組む「フィールドインターンシップ」が用意されています。国内外の大学や問題解決の現場に滞在するなかで、問題発見から問題解決までを体験します。



社会の諸問題を専門家の協働で解決する
実践力と独創力を育てるプログラム

独創力を研鑽する実問題のラインアップ

実習や研究の各段階で、実問題の解決に取り組み、問題発見能力や問題解決能力を身につけていきます。企業やNGOと協働するリーディングプロジェクトを通じて、複数アドバイザーのもと、博士研究を進めていきます。



リーディングプロジェクト事例

VOICE 人と人、人と機械のコミュニケーションを支援する視点から、デザイン学への新たなアプローチを開拓しよう!

黒橋 禎夫 教授
情報学研究科 知能情報学専攻

多言語ネットワークの可視化による異文化相互理解の支援

グローバル化・複雑化する社会における異文化相互理解の支援環境を、情報学・経営学・心理学等の英知を結集して構築する。翻訳ボランティアによる対訳コーパスを基に自己増殖的に改善する翻訳環境、さらに、複雑な課題に関する多言語の言論の関係を自動翻訳を介して検出する言論ネットワーク可視化環境をデザインする。

VOICET 対訳コーパスを用いることによる高精度な自動翻訳

持続可能社会のための都市エリアのデザイン

都市の全体最適化を目指す「エリアデザイン」の戦略には、①自然生態系と調和するエコロジカルな環境、②類似と差異のネットワークからなる美しい景観、③エネルギー・情報・モビリティ等のエリア最適化を図るスマートコミュニティ、④エリア内の地域資源をネットワーク化した新しいサービス、⑤MICE・観光戦略、ユビキタス社会、⑥文化・芸術、科学・技術が集積する創造都市などがある。歴史都市・京都を中心に様々なタイプの都市エリアに取り組む。

3次元CGを用いた都市エリアの景観シミュレーション

門内 輝夫 教授
工学研究科 建築学専攻

VOICE 文化の集合・交流の場として育まれてきた京都から、人々の生活の質を暮らしやすさを追求し、新しいまちづくりを発信します。

榎木 哲夫 教授
工学研究科 機械理工学専攻

都市とモビリティが支える豊かな社会システム

機械工学領域によって人々の生活行動のモデル化・解析を行い、情報学領域のモデルベース制御を用いて、適応的で可塑的な生活インフラを提供していく。また、EV車の走行データから運転者モデルの分類とマクロシミュレーションを行い、生活者の時間的・空間的性質の創発について、建築学の時間定理学により実証分析する。さらに経営学を用いて低炭素化と経済の関係を明らかにし、学習コミュニティの実現に向けた社会規範のデザインに取り組む。

生活者個人から生活圏全体までを対象とした行動支援のイメージ

山内 裕 講師
経営管理研究部

デザイン型サービスの探求：料亭から学ぶ

国際的な競争力を有する料亭などのサービスに注目し、そのデザインの方法や論理を明らかにする。これらのサービスでは、料理、器、室礼にいたるまで細部までデザインされ、また料理にも「おいしい」だけではなく「個性」や「驚き」を求め、客にとっての格別の体験を生み出している。食に限らず他分野も含めて、このような感性的(aesthetic)イノベーションを理解し、創出することを目指す。

先例の例(京都・嵐山泊)、様々な観点から全体の調和が実現されている。

+ Shaped People

俯瞰力

独創力



- 建築学 (工学研究科)
- 機械工学 (工学研究科)
- 情報学 (情報学研究科)
- 経営学 (経営管理大学院)
- 心理学 (教育学研究科)

デザイン学を基礎に専門領域を超えて協働できる
突出した専門家「十字型人材(+ Shaped People)」を育成

デザインの理論や方法を学ぶことを通じて高度な俯瞰力を培い、実践的な実習・研究を積み重ねることによって独創力を育てます。修士課程から博士課程までの一貫した指導体制によって、専門知識を社会の現場で生かすことのできる人材(+ Shaped People)を育成します。